

第 19 回 日本社会福祉学会フォーラム

「地域共生社会を問う」

ー 共生の実現に向けた社会福祉実践からー

1 趣旨

今日の日本における社会福祉の政策目標は「地域共生社会の実現」である。地域共生社会の実現が目指される背景には、8050 問題や社会的孤立などの複雑化・複合化したニーズの顕在化があげられ、「地域のなかで多様な主体が支える・支えられる関係を越えて」尊重される社会が目指されている。特に、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な福祉サービス提供体制を整備する観点から、地域包括ケアシステムの構築を基軸として、全国各地で地域における包括的・重層的支援体制の整備が急がれている。

他方、社会的排除や差別などといった共生の実現をめぐる諸課題は、ながらく社会福祉が取り組んできた古くて新しい課題ともいえる。特に政策レベルでは、社会連帯の理念にもとづいた介護保険制度の創設から地域包括ケアシステムの構築、さらには障害者差別解消法の制定などの法整備により、共生の実現が図られてきた。また、社会福祉実践の現場においても、ノーマライゼーションやソーシャルインクルージョンの理念のもと、社会福祉施設や社会福祉協議会、NPO 法人など多くの主体が共生の実現を図る社会福祉実践を積み重ねてきた。

そこで、本フォーラムでは、基調講演において社会福祉における共生と連帯について、政策展開の観点から課題を提起していただく。その点をふまえ、シンポジウムでは、社会福祉がこれまでどのように「共生の実現」を目指して実践してきたかという点について、さまざまな分野・立場における実践者から発題いただき、地域共生社会をめぐる課題について議論したい。

2 主催

一般社団法人日本社会福祉学会

一般社団法人日本社会福祉学会・九州地域ブロック

3 後援（予定：順不同）

日本学術会議、福岡県社会福祉協議会、福岡県老人福祉施設協議会、福岡県医療ソーシャルワーカー協会、福岡県介護福祉士会、福岡県社会福祉士会、福岡県精神保健福祉士協会、福岡県介護支援専門員協会、福岡市社会福祉協議会

4 日時

2023 年 3 月 11 日（土） 13：00～16：30

5 会場

オンライン

6 対象

一般社団法人日本社会福祉学会会員及び会員以外の方でテーマに関心のある方

7 参加費

無料

8 プログラム

- 13:00～13:10 開会挨拶 空閑浩人（同志社大学教授）
- 13:10～14:20 基調講演
社会福祉における共生と連帯を考える－法制度・政策の展開から－
伊奈川秀和（東洋大学社会学部社会福祉学科教授）
- 14:20～14:30 休憩
- 14:30～16:20 シンポジウム
共生の実現に向けた社会福祉実践から地域共生社会を問う
藤村昌憲（特別養護老人ホームなの國施設長）
藤田博久（福岡市社会福祉協議会事業開発課アドバイザー）
鈴木栄子（特定非営利活動法人ちくほう結事務局長）
上原敬子（久留米市役所健康福祉部地域福祉課主査）
コメンテーター 伊奈川秀和（東洋大学社会学部社会福祉学科教授）
コーディネーター 本郷秀和（福岡県立大学教授）
- 16:20 閉会挨拶 村山浩一郎（福岡県立大学教授）
- 16:30 終了

*プログラムの進行上、時間が多少ずれる場合もあります。

9 申し込み方法

webにて事前参加申込を受け付けます。

詳細は、学会HPをご確認ください。

*要約筆記はあります。

10 問い合わせ先

日本社会福祉学会大会ヘルプデスク(フォーラム)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター((株)国際文献社内)

FAX 03-5227-8632

E-mail jssw-forum@conf.bunken.co.jp